

第2回 新居浜駅周辺まちづくり協議会次第

日 時：平成26年4月18日（金） 午後1時から
場 所：新居浜ウイメンズプラザ 2階 研修室（視聴覚室）

部長あいさつ

開 会

- 1 前回のまとめ
- 2 まちづくりの方向性
- 3 南北市街地の一体化に向けたまちづくりについて（ワークショップ）

閉 会

新居浜駅周辺まちづくり協議会 委員

第2回:H26.4.18開催

No.	区 分	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	学識経験者	愛媛大学大学院	教授	吉井 稔雄	
2		新居浜工業高等専門学校	校長	鈴木 幸一	
3	関係事業者又は 団体の者	(社)新居浜市医師会	副会長	中山 恵二	
4		(社)新居浜市観光協会	専務理事	亀井 喜一郎	
5		四国旅客鉄道(株)	総合企画本部 担当部長	長戸 正二	
6		新居浜商工会議所	観光まちおこし 委員会委員長	妹尾 次郎	(代理) 眞木 泰彦
7		新居浜市女性連合協議会	総務	佐々木 利美	
8		(公社)新居浜青年会議所		嶋田 純也	
9		新居浜市農業委員会	農地部会長代理	篠原 修	
10		新居浜市農業協同組合	常務理事	曾我部 英敏	
11		新居浜市福祉施設協議会	副会長	住友 裕美	
12		松木坂井自治会		相原 悦滋	
13		新居浜市連合自治会	副会長	坂上 公三	
14	公募	市民公募委員1		多田羅 弘美	
15		市民公募委員2		白石 哲也	

新居浜駅周辺まちづくり協議会

第2回 資料

目 次

I. 前回のまとめ	1
II. まちづくりの方向性	2
III. 南北市街地の一体化に向けたまちづくりについて ...	3

平成26年4月18日

I. 前回のまとめ（会議での意見）

（1）新居浜駅連続立体交差事業について

- 高架化するなら南北自由通路が邪魔ではないか。高架が可能なのか。
- 南北自由通路を建設している中で、高架化の議論はおかしい。
- 今後 10 年、20 年の期間の中では実現性が難しい。

（2）駅南地区のまちづくりについて

【将来像】

- 南北の一体化を図ることが重要である。
- 交流人口が増え、来訪者が便利なまちづくりや賑わいづくり。
- 駅利用の半分が南側へ足を運ぶようなまちづくり。
- 子供の笑顔がみえるまちづくり。

【交通】

- 南北一体となる交通軸の方針を出すべき。
- 南北一体のアクセス道路の整備。（駅裏中筋線、菊本線の延伸）
- 別子銅山などの観光資源やインターチェンジと直接アクセスできる道路の整備。
- 駅裏中筋線の歩道整備。
- 駅南地区のまちづくりを考える上では歩行者の視点を踏まえた道路計画を考えるべき。
- 駅南地区にもバスが来るよう誘致すべき。

【土地利用】

- 商業施設
- レストラン、喫茶店
- 催し物をするスペース
- 駐車場の整備
- JAの有効活用
- 農地の活用
- 1日滞留できる施設
- ホテル
- 公園
- 総合案内所

（3）その他

- 新居浜駅前土地区画整理事業区域内はまちの顔をきちんと誘致すべき。
- 駅南側に出入口を設置することはできないのか。
- 軌道敷も含め駅を地下化することはできないのか。

Ⅱ. 新居浜駅周辺のまちづくりの方向性

■まちづくりのコンセプト

- 新居浜駅を中心とした駅周辺地区との一体的な拠点の形成
- 「賑わい」、「文化・交流」、「生活」をキーワードとした駅南北の連携
- 交通結節点機能の強化
- 歩いて暮らし、来訪者が滞留できるまち

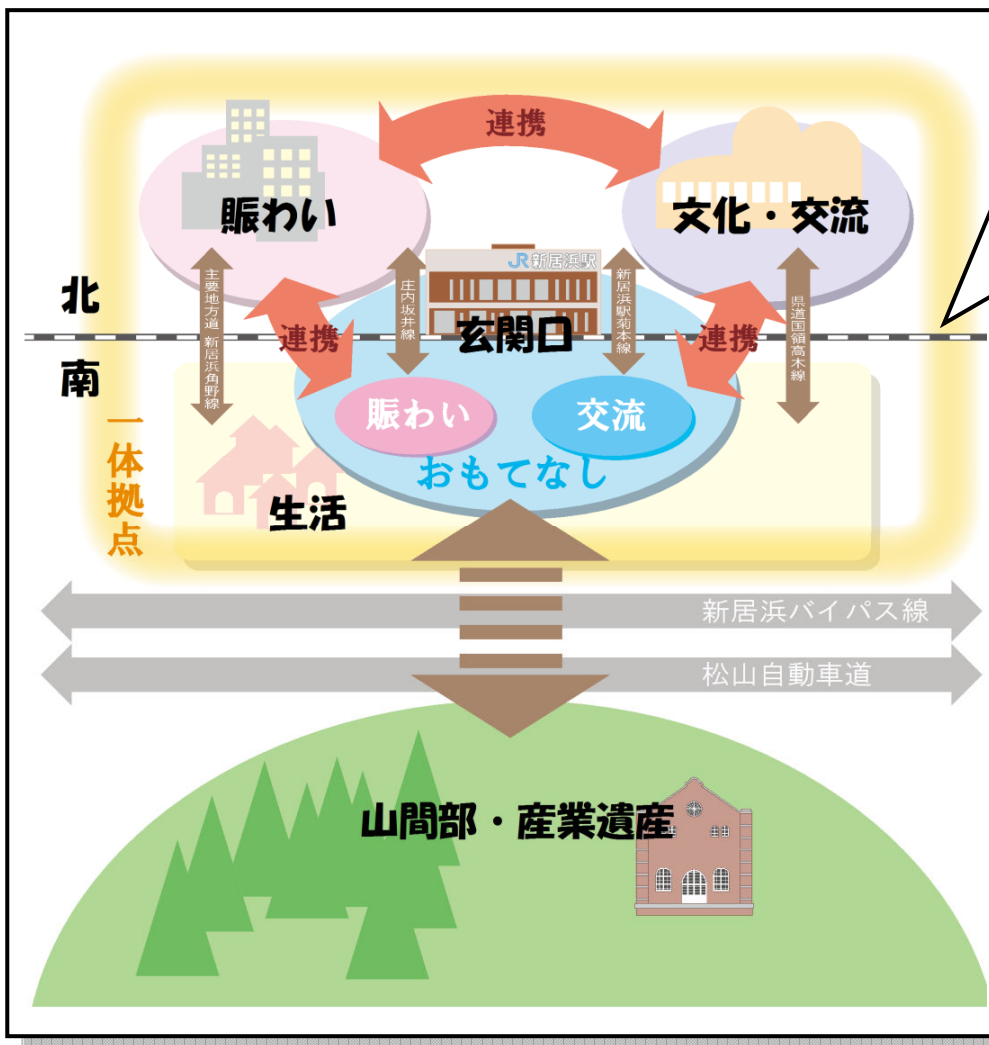
■まちづくりの考え方

新居浜駅周辺については、市街地南北が一体となった都市拠点の形成を目指し、南北を結ぶ南北軸を確保しながら、「賑わい」、「文化・交流」、「生活」をキーワードに各エリアと連携したまちづくりを考えます。

駅北側については、新居浜駅前土地区画整理事業による基盤整備が進み、ショッピングセンターなどの「賑わい」や建設中の総合文化会館の「文化・交流」を活かし、さらなる土地利用の充実を図っていくを考えます。

駅南側については、市南部の山間部において産業遺産をはじめ様々な観光資源が点在しています。新居浜市の観光の玄関口として観光資源と有機的に連携し、駅の来訪者が滞留・休息できる賑わいや交流を育むおもてなしの土地利用や、多世代が住み豊かな生活を育む土地利用を考えていきます。

これらの土地利用がそれぞれ連携していくため、鉄道で分断された南北軸の整備を行い、駅南北の一体となった拠点づくりを目指します。



新居浜駅の連続立体交差事業については、費用対効果の概算結果を含め国の採択要件を満たすことができないため、今後10年、20年の期間の中で事業化を見込むことは難しいと言わざるをえない。

したがって、駅南地区のまちづくりにおいては、連続立体交差事業を前提としないこととし、駅南北の連携やにぎわいの創出などの課題に対して検討を行っていくものとする。

Ⅲ. 南北市街地の一体化に向けたまちづくりについて

■南北市街地の一体化に向けたまちづくりについての意見交換

目的：南北市街地の一体化に向けたまちづくりは、どのように行えばよいのかを考えます。

内容：地図を見ながら、位置と具体的内容についてご意見をお聞かせ下さい。

※今回の意見交換で結論を出す予定ではありません。

【手順】

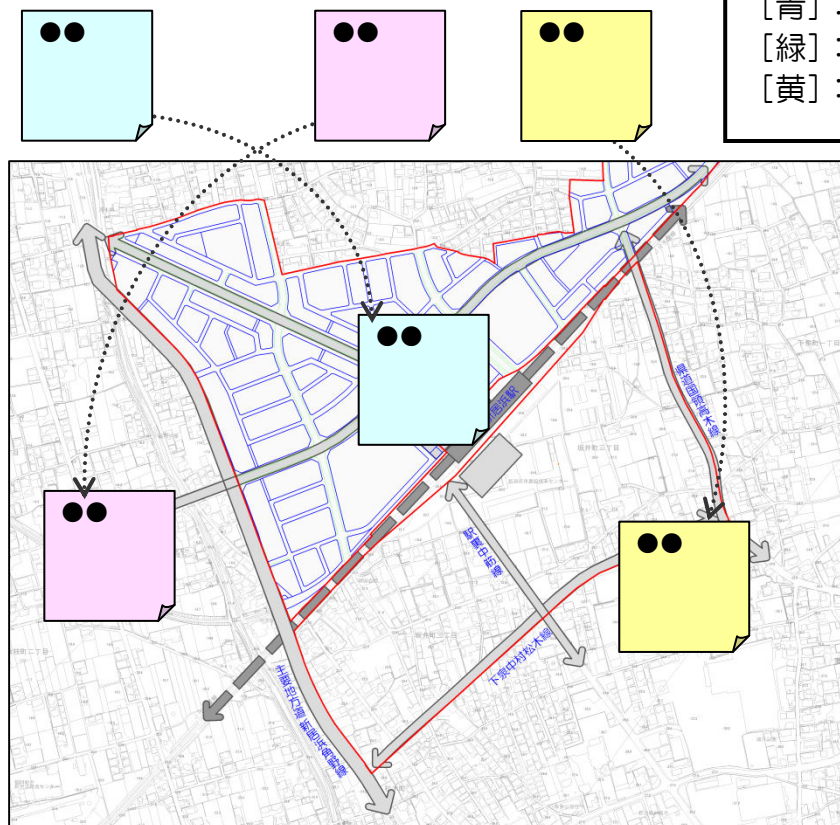
- ①新居浜駅の南北市街地の一体化に向けたまちづくりで、必要なものは何でしょうか。
- ②班でそれぞれの内容をふせん紙に書いてください。
- ③内容1件について、1枚のふせん紙に記入してください。

それぞれに関する事柄で色分けしてください。

[赤]：賑わい
[青]：交通
[緑]：生活
[黄]：その他

いっぱい書いて

とんとん貼ってください



- ④各班の代表者に、意見内容を発表していただきます。